



新しいNEW CROWNのブックデザインを担当することになり、正直「それはマズいな」と思いました。英語がわからない自分が製作にたずさわって、見やすくわかりやすい英語の教科書をつくることなんてはたしてできるのか…。

本文デザインフォーマットの決定後、しばらくは大きな進展もなくうち過ぎ（もちろんDTP作業を担当した三省堂編集部では作業が進んでいたわけですが…）、私が実作業に参加したのは09年の11月末からで、年明けには印刷所に入れないと間に合わないタイミングでした。もはや時間がありません。作業は短期間に集中的に進めて、どうにか紙面を整えることができました。心配をしていた、打ち合わせを英語でしたり、修正の指示が英語で書かれていたりという困難な事態もいっさいありませんでした。当然です。いったい何を心配していたんでしょうか。

内容がわかりやすくデザインできているか否かの判断は自分ではハッキリわかりませんが、編集者の方々がたいへん喜んでくれていて上にお礼まで言ってくれているので、問題なくできているのだととりあえずは理解をしています。ひと安心です。

完成した教科書は、イラスト満載の楽しいもので、読者である生徒たちにちょっとサービスのし過ぎでは？と思えるほど。この教科書が英語好きを生み出すきっかけになればうれしいかぎりです。生徒たちの将来の外国旅行は、英語がわからなくても十分に楽しいでしょうが、わかればもっと楽しいし（希望的観測）、なにより便利でしょう。

かなうことなら、中学1年の時に英語の授業を受け持ってくださいましたN本先生にみせびらかして自慢したい気持ちです。そしてどうか先生も、生徒たちにおもいきり自慢をしてください。（斎藤清史）